

愛鷹明神水のレメディーを取入れて 全身の発疹と痒みが改善した40代男性のケース

日本ホメオパシーセンター江別元町
風織＊かおり 片山里美

JPHMA認定ホメオパス No.0853

JPHF認定インナーチャイルドセラピスト

JPHF認定スピリチュアル・フィットセラピスト

JPHF認定フラワーエッセンス療法士

第26回コンGRESの開催、おめでとうございます。
開催に関わる全ての方々に感謝をもって、
この症例をまとめさせていただきます。



はじめに・・

全身の皮膚発疹と強い痒みの症状に、皮膚に特化したサポートリンクチャーと、レメディー検索による症状に同種のレメディー、カルマ的な背景を癒す病原菌のレメディー、水のレメディーを組み合わせることで、1回の健康相談で早期に改善したケースをお伝えします。

主訴

40代男性

強い痒みを伴う全身の発疹

〈この症状の経緯は以下の通りです〉

旅先で温泉に入った後、足首に発疹が現れ、脛から全身、頬まで一帯に広がる。発疹は隆起し、左前腕や頬など重症部位は、結合して一帯に盛り上がって赤く腫れて熱感がある。非常に激しい痒みを伴い、掻くことを我慢しているが、掻いてしまうとピリピリと痛痒く、腫れ上がって滲出液が出る。耳たぶがただれている。痒みが強く眠れない。皮膚科を受診したが「原因は分からない」と言われた。セルフケアでホームキットからRhus-t.をとったが変化ない。

〈皮膚の状態〉



〈適応レメディーの選択〉

ボーニングハウゼンの
レパートリー（以下TBR
と表記）を使って、この
クライアントの皮膚症状
に同種のレメディーを組
み合わせました。

1 : 1462# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 丹毒性の(丹毒様の;蜂巣炎) : - 腫脹のある :

2 : 1495# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 化膿した(膿を排出する、膿んだ) :

3 : 1443# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 色 - 赤い、皮疹 :

4 : 1494# 3. 全般 - 3. 全般 - 7. 発疹 - 剥離(落屑) :

5 : 1727# 4. 基調 - 1. 基調 - 2. 温度、季節、天候 - 暖かいこと(暖かさ) - 温まると:(+好転 冷えると) :

6 : 698# 2. 系統 - 6. 体温調節 - 3. 熱さ - 乾いた(熱い乾燥肌;熱に伴う発汗に欠ける) :

7 : 263# 1. 部位 - 3. 体肢 - 1. 上肢 - 腕 - 前腕 :

8 : 904# 3. 全般 - 3. 全般 - 1. 全般 - 身体の側面 - 左側 :

9 : 179# 1. 部位 - 1. 頭部 - 10. 外見 - 発疹(皮疹) : - 頬に :

順位	レメディー	出現回数	度数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Merc.	9	27	4	4	3	2	3	3	4	3	1
2	Staph.	8	22		3	1	3	2	3	4	2	4
3	Sep.	8	21	2	4		4	1	3	2	2	3
4	Bell.	8	18	4	1		4	1	3	1	1	3
5	Dulc.	8	17		3	3	1	3	3	1	2	1
6	Rhus.	7	21	4	4			1	3	4	1	4
7	Lyc.	7	19	2	3	3		4	4	2	1	
8	Sulf.	7	17	3	2		1	3	3	2	3	
9	Sil.	7	16	1	2		3	2	3	2		3
10	Bry.	7	16	2		2		4	4	1	1	2
11	Nat-c.	7	14	1	4			1	2	3	1	2
12	Phos.	7	14	2			3	1	4	1	1	2
13	Led.	7	14		1	2	3	3	3	1	1	
14	Puls.	7	14	2	1		1	4	4	1	1	
15	Verat.	7	13		1		2	3	1	1	2	3

液) サポート尋常性乾癬

+ Merc-sol LM03 (溶解水銀)

+ Lepr 30C (らい菌)

+ Staph LM03 (ヒエンソウ)

+ Super Blessing (スーパーブレッシング)

+ Ashitak-w. 30C (愛鷹明神の水)

※とり方

ビンの底を2回たたいて鼻のそばで嗅ぎ、
500mlほどの水に10滴入れ一日かけてとる

〈このレメディーを選択した根拠〉

応急的にホームキットのレメディーをとっても改善しない皮膚状態に対して、ZENメソッドで対応しました。

〈このレメディーを選択した根拠〉

液) サポート尋常性乾癬 のチンクチャーには、
TBRで検索すると上位にあるSep. Dulc. Sil. Sulf. Verat.
のレメディーが含まれています。強い痒みに適応する
マザーチンクチャーのMT)Urt-p.や、肝臓や神経など
症状の根本解決に必要な臓器をサポートする
MT)Tarax. MT)Aven. 等が含まれています。

〈このレメディーを選択した根拠〉

TBRでトップのMerc. と2番目のStaph. を選択しました。Merc. は、このクライアントの皮膚症状の根っこにある土壌をきれいにする役目も含めて選んでいます。また健康相談の聞き取りから、感情面の怒りの抑圧があることにも考慮して、精神面においても同種のレメディーであるStaph.を選びました。

〈このレメディーを選択した根拠〉

皮膚症状のきっかけとなった温泉のある旅先は、先祖の土地であり、その土地には隔離されたライ病患者の歴史的な差別の背景があることが見えてきました。そのことに考慮して、ライ病の病原菌から作られたLepr. のレメディーを選択しています。

〈このレメディーを選択した根拠〉

霊性向上を目指しているこのクライアントに、その土地の癒されたいものが浄化を求めて寄ってきている可能性を含めてSuper-blessingも選択しました。

〈このレメディーを選択した根拠〉

同和問題の背景にある、「人から認めてもらえない
悲しみ」を癒す働きをもつAshitak-w. を合わせて選
択しました。

〈経過〉

1 / 1 3 （適応レメディーが届く前）

「顔が別人のように腫れている。」と連絡を受けました。手持ちのマザーチンクチャーと、ホームキットで、応急的なセルフケアを勧め、何とか持ち堪えておられました。

以下、お勧めした応急レメディーです…

MT)Calen. 皮膚の修復に

○基本のホームキットから・・

Apis30c 急性の痒みと腫れに

Rhus-t.200c 痒みに

Carb-v.30c 発疹に

Calc.30c 前腕の湿疹に

Merc.30c 掻いた後に赤く腫れる湿疹に

○予防のホームキットから・・

Strept.200c 溶連菌感染の予防に

○ミネラルのホームキットから・・

Calc-s.12x 化膿性の分泌物が出ている

Kali-s.12x 赤くただれて分泌物が出る痒い皮膚症状に

Nat-p.12x 体中が痒い

Sil.12x 治りにくい皮膚症状に

Kali-br.12x 痒い吹き出物に

Lith-m.12x 常に痒く掻くと赤剥けになる

Zinc-m.12c 掻き傷の修復に

このクライアントのご家族が、ホームキットの講座に参加されていたので、ミネラルのホームキットもあり、すぐにお手持ちのホームキットのレメディーを使って対応されました。

経過のご報告がありました。

1/23（適応レメディーをとり始めてから）
別人だった顔の腫れと皮膚の状態が改善
首から全身はまだ発疹や痒みがあり、
夜中に起きる事がある
あらためて自分への気付きが多く活動的に動き始め
ている

〈結果〉

3/26

適応レメディーをとり終えて、「背中と下半身に茶色く発疹の痕は残っているものの、湿疹と痒みはなく、皮膚の状態は改善している。症状が改善したので、レメディーは一旦やめようと思います。」との報告がありました。通常の生活を送っているとのこと。

その後4か月経って、「新たな発疹や痒みはなく過ごしている」との報告がありました。

〈考察〉

急性症状の問合せに対して、ホームキットのレメディーを紹介して症状が収束することが多いのですが、このケースの場合、Rhus-t.などをご自身で使われても症状が改善せず、健康相談となりました。

〈考察〉

適応レメディーとして選択したレメディーには、Merc. やStaph.等、ホームキットに含まれるものもありましたが、そこに、症状の真因とも思われる、先祖の抱えるカルマ的な背景を鑑みて、Lepr. を組み合わせたことで、皮膚に見られる表面的な身体症状と、その背景にある先祖の患ってきた症状の両面にアプローチすることになったのではないかと思います。

〈考察〉

Staph.は、怒りの感情の抑圧があるときに感情面と向き合うことをサポートするレメディーですが、今回のTBR検索では、精神面をループリックに選択しなくても2番目に上がってきました。その背景に、抑圧した感情が皮膚症状として現れることを示唆しているとも思われました。

〈考察〉

カルマ的背景に対して、Super Blessingを組み合わせつつ、人から認められない悲しみに、Ashitak-w. を選択しました。このレメディーのもつ「人から許してもらえない、認めてもらえない、それでも繋がりたい」という悲しみの感情は、人としての基本的な人権を求める同和問題が背景にある土地に根付いた深い想念とも捉えることができるのでは、と思います。

〈考察〉

先祖の苦悩を癒しながら、「自分への気づきが多く活動的に動き始めている」とのご報告の通り、自らの日々の生き方を見つめ直すことも含めて、重症化した皮膚症状が改善したのではないかと考察します。

〈考察〉

皮膚症状に対するアプローチとして、今出ている皮膚の状態に同種のレメディーを選択するだけではなく、その根治に必要な臓器のサポートをすることができるサポートリンクチャーの存在をあらためて実感しました。

〈考察〉

また、水のレメディーが、その方の身体症状のみならず、感情の抑圧や、今世を越える問題にも同時進行で届いていく神聖さをあらためて痛感した。

〈考察〉

このクライアントが、自らの症状を受けとめ、激しい苦痛においても、真因を見つめようとされた勇気にも頭が下がるケースでした。

〈考察〉

セルフケアのためのホームキットがあること、それでも改善しないときにはZENホメオパシーで対応できること、ZENホメオパシーには、霊性向上へと導く手立てがあることを、あらためて学ばせていただくケースでした。

症例の発表にこころよく協力して下さった、
クライアント様、ご家族様にこの場を借り
て、お礼申し上げます。

ホメオパシーのホームキットが、より身近に活用され、
多くの方々の日々の支えとなりますように。



ご覧いただき、ありがとうございました。